



金岡南中

校報 1 月号 堺市立金岡南中学校

令和 7 年 1 月 1 日発行

学校教育目標

人間尊重の精神を基盤として

- ・学びの楽しさを知り、自分から学びに向かう生徒を育成する
- ・自分自身や周りの人を大切にできる生徒を育成する

校長室から

令和 7 年、2025 年、巳年(へび年)を迎えました。

巳年は「成長」と「再生」を象徴する年とされ、物事が育ち、安定する時期とも言われてきました。蛇が脱皮を繰り返すことから、新しい生命の誕生や再生を象徴すると考えられたようです。十二支に限らず、西洋でも蛇は再生と結びつけられています。コロナ禍のマスコミ報道で画面に映った青いインタビューボードを覚えている方も多いと思いますが、世界保健機構(WHO)のシンボルマークには蛇が巻き付く杖があらわれています。ギリシャ神話に登場する医療の神「アスクレピオス」が持つ杖で、巻き付いた蛇が再生と治癒を表しているそうです。

鰻と穴子と太刀魚は大好物な一方、蛇は大の苦手なのですが、巳年の今年は皆さんと力を合わせて、これまでの努力が実を結び、新たなステージへと進む転機の年になるようにしていきたいと考えています。

学校は 3 学期に入りました。短い学期ではあるものの、学年最後の学期としてこの 1 年間をまとめる大切な時期になります。もちろん 3 年生にとっては進路を決めていくための重大な局面を迎えています。

寒さが厳しさを増していますが、元気に乗り切っていきましょう。

謹賀新年

令和 7 年元旦

旧年中はご理解とご協力を賜り
ありがとうございました

本年もよろしくお願いいたします

金岡南中学校 PTA 会長

土岐 悟

金岡南中学校長

齊田 浩

校長室から その 2

私の学生時代、日本で開かれた学会に招かれたアメリカ人犯罪学者から聞いた話を今でも鮮明に覚えています。「日本は先進国なのに、外国人が働いている姿を見かけることがあまりない。外国人旅行者も少ない。とても珍しい国だよ。」もちろん、彼にはアジア系の人々の国籍を見分けることはできなかったかもしれませんが、当時の統計によれば、1985 年における訪日外国人数は約 233 万人で現在の約 10 分の 1 以下に過ぎません。

それから 40 年近くを経て、働く外国の方々も、インバウンド、外国からの観光客も飛躍的に増えています。あの犯罪学者が今の日本を見たら激しい変化に驚くはず。もっとも、40 年前には国際経済指標である国内総生産(GDP)がアメリカに次ぐ世界第 2 位を誇った日本経済は陰りを見せ、2010 年に中国、2024 年にドイツ、今年、2025 年にはインドにその座を譲って世界第 5 位になることが予想されています。そうした中で人口減少を迎えた日本社会は、外国の方々の力なしには立ち行かなくなっています。コンビニ、ファーストフード、ホテル、大学、医療現場、生産現場など多種多様な企業や組織で働く外国の方々が増えています。残念なことに本当の意味での国際化が進んでいるわけではないようです。在留資格制度の改正や経済情勢などを受けて、日本で働く外国人の数は増えたものの、急激な変化を背景として排外的な雰囲気や醸成され、外国人に向けて心無い言葉が向けられるなどのさまざまな弊害が生じていると言われることがあり、日本を選んでくれる人々が減るのではないかと危惧されています。

一方で、金岡南中学校では明るい兆しもあります。将来、国際的な仕事に就きたいと答える生徒が多いのです。世界に目を向けたとき、金岡南中学でしか体験できない、1000 人規模の仲間たちと一緒に学ぶ「対話」や「協力」や「調整」を進める力は、様々な場面でも役立つはずです。

金岡南中学校はみんなの夢に寄り添い、優しさ、強さと、正しさを身に付けて世界に羽ばたく生徒を送り出していきます。

地震

今月 17 日、阪神・淡路大震災から 30 年目を迎えます。我が国の近代的都市が経験したことのない規模の災害でした。当時、法務省の防災業務の取りまとめを担当していた、各省防災担当者の会議にも出席していましたが、あの震災は当時の想定をはるかに超えるものでした。テレビに映し出される被災状況を前に、無力感に打ちのめされながら固定電話！で復旧のための連絡を続け、気づいたら翌朝でした。堺にお住まいだった 30 代以上の方は身をもって体験されていますから、思い出すのも辛いことでしょう。申し訳ありません。

その後も人間の弱さを思い知らされる自然災害が続いています。発災が危惧されている南海トラフ地震への備えをはじめ、少しでも災害の被害を減らす努力を続けなければ、あの日の経験を生かすことができません。金岡南中学校の防災対策を進めていくことが、30 年前のあの日、なすすべもなく受話器を握りしめていた私の務めだと思っています。

嬉しいことと悲しいこと

先日、地域の方から学校にとっても嬉しい一本の電話がかかってきました。金岡南中学の生徒が朝の登校時にケガをした小学生を見つけて優しく声を掛けてあげてくれたそうです。皆さんにお願いしている優しさを身に付けてくれていることを誇りに感じました。一方で、帰り道で暴力を振るっている生徒がいるという悲しい電話をいただくこともあります。

人を傷付けて成長できる人間はいません。それどころか、場合によっては暴力は自分の将来を閉ざすことにもなりかねません。日々のちょっとした出来事が悲劇に繋がらないよう、いま一度、自分の行動を振り返ってみませんか。

1 月の予定

- 7 日 3 年生補充授業
- 8 日 始業式
- 9 日 1、2 年生チャレンジテスト
3 年生第 3 回実力テスト
- 14 日 2 年生障がい者理解教育
- 16 日 3 年生実技教科テスト
- 17 日 避難訓練(地震)
- 21 日 3 年生学年末テスト①
- 22 日 3 年生学年末テスト②
- 23 日 3 年生学年末テスト③
- 31 日 2 年生職業体験講座



お礼

急なお知らせとなった 12 月 27 日の準学校閉庁日については、皆さまのご理解とご協力のおかげで無事に試行することができました。堺市の学校園では、生徒の成長や関係者のワークライフバランス実現に向けて、学校の充実を図るための様々な取組を重ねています。引き続きご協力いただけますよう、重ねてお願い申し上げます。

ホームページのご案内

金岡南中学校ホームページは随時更新しています。次の URL または QR コードから最新の金岡南中学校の姿をぜひご覧ください。
(URL <https://www.sakai.ed.jp/weblog/index.php?id=sakai114>)



